



トレーニング科学国際集中講座 in 西宮

”情報とエネルギーの一体性”

<要旨> 1925年、ドイツ最古に属するライプチヒ大学(1409年創立)で、ドイツ最初の「スポーツ科学」がスタートしました。その後、スポーツ科学の先駆的研究は数々ありますが、とくに、コーディネーション理論の本格的な研究は1970年代に進められ、世界基準としての地位を得ています。今回は、個体発生(“発育発達”)におけるコーディネーションの位置づけについて、また、トレーニングの根源的な本質“刺激-適応”を情報系(コーディネーションなど)とエネルギー系(コンディションなど)の両プロセスに関連付けて学び、「情報とエネルギーの一体性」を理解するというのが主旨です。また、タレント性を判断する際に何がポイントなのかについて学びます。

受講申し込みは最後部

<講師>

Dr. Christian Hartmann(C. ハルトマン):
50年強におよぶライプチヒ学派のコーディネーション研究の伝統的な継承者。同大学スポーツ科学部 一般動作・トレーニング科学研究所。共著「動作学-スポーツ運動学」、「初歩の動作学-トレーニング学」など。

Dr. Hans-Joachim Minow(H.-J. ミノウ):
同大学同研究室。とくにコンディション系能力と負荷構成を研究。ドイツ最大規模の総合型スポーツクラブ(SC-DHFK、約6千名)副会長。共著「初歩の動作学-トレーニング学」など。

長岡 雅美(ナガオカ・マサミ):
武庫川女子大学教授。児童・幼児の運動能力調査、スポーツ指導実践などの研究プロジェクトを通じて、ライプチヒ学派の理論を基礎に幼児期を対象とした運動発達の理論の体系化と総合的構築に関する研究を進める。

綿引 勝美(ワタヒキ・カツミ):
鳴門教育大学教授。日本の数少ないコーディネーション理論研究者。長年の“ライプチヒ学派”の調査研究をもとに、適性診断(タレント性)など、実際の指導活動を展開。著書「コーディネーションのトレーニング」(1990年)、翻訳「動作学-スポーツ運動学」(1991年)、「初歩の動作学-トレーニング学」(2014年)など。

<会場>

武庫川女子大学・中央キャンパス
日下記念マルチメディア館内MMホール:
<http://www.mukogawau.ac.jp/gakuin/campus/07mauchi.htm>

住所: 〒663-8558 兵庫県西宮市池開町6-46
最寄り駅: 阪神本線「鳴尾」
*キャンパス内に駐車場はありません。

11月25～26日 第8回 ジャパン講座 in 西宮 *演題は予定です。

11/25 (土)	09:15-	会場にて受付	
	10:00-	開会 / 事務連絡など	
	10:20-11:50	講義 運動個体発生と“感受期”	講師: DR.ミノウ
	13:00-14:30	講義 身体経験と動作経験 ～固有感覚受容器～	講師: DR.ハルトマン
	14:40-16:00	講義 幼児の運動発達の特性と多様性 ～発達性協調運動障害の観点から～	講師: 長岡雅美
11/26 (日)	16:10-17:40	講義 トレーニングの本質“刺激-適応” ～エネルギー系プロセス～	講師: DR.ミノウ
	09:00-10:30	講義 トレーニングの本質“刺激-適応” ～情報系プロセス～	講師: DR.ハルトマン
	10:40-11:40	講義 ドイツの底力PartIV ～適性診断法とその応用事例～	講師: 綿引 勝美
	-12:00	全体質疑応答 / 閉会	

11月26日 13:30～ “コーディネーショントレーナー”認定試験	
会場: MM-502教室(メディア館内)。 受験申込などはこちら	* 受験資格: ライプチヒ講座を修了しており、当ジャパン講座修了予定の方。 詳細: トレーナー規定

受講料金	全2日間			
	一般	11月25日	11月26日	
	¥7,000-	¥5,000-	¥3,000-	
学生	¥5,000-	¥4,000-	¥2,000-	
“コーディネーショントレーナー”	無料 * 但、資料代として¥2,000-			